

## 第5章

## 【家庭と連携し、子供が自ら取り組む家庭学習〈家庭編〉】実践例

### 「親の学び」プログラムを活用し、保護者と家庭学習の在り方について情報共有する取組 ～水俣市立葛渡小学校～

学級懇談会で、芦北・水俣学力向上対策協議会作成の「『親の学び』プログラム（家庭学習編）」を活用し、家庭学習に対する考え方等について、保護者と情報交換したり、「芦北管内統一事項（家庭学習編）」の取組について確認したりした。

我が家では、宿題を終えるのに必死で、なかなか自学まではできていません・・・。



自学のメニューを自分でなかなか決められないので、我が家では、自学で何をするかを一緒に考えています。

#### さいころトーク「家庭学習 編」

さいころの目の数のAかBのどちらかを選んで話してみましょう！  
また、さいころを振っていない人も続けて自分の考えを伝えましょう！

さいころの目	選択	話 題
1	A	子どもが、宿題や家庭学習に進んで取り組むためにはどんなことが必要だと思う？
	B	子どもが、宿題や家庭学習に取り組めないときにかかるよい効果的な言葉は？
2	A	家庭学習は、どれくらいの時間が適切だと思う？
	B	家庭学習はなぜ必要かと聞かれたらどのように答える？
3	A	オンライン等によるインターネットを活用した家庭学習をどう思う？
	B	家庭で行う自主学習において、ノートを活用することでどのような効果があると思う？
4	A	子どもが宿題や自主学習に時間がかかり、寝る時刻が遅くなる家庭の保護者の気持ちや悩みは？
	B	子どもがテレビやゲーム等に時間をとられ、寝る時間が遅くなる家庭の保護者の気持ちや悩みは？
5	A	子どもが宿題や自主学習において、教科書や辞書等を使わず、主にインターネットで調べをどう思う？
	B	家庭学習をがんばっている、なかなか成果が見えない子どもにどのような声かけを行う？
6	A	家庭において読書に関心を持たせる方法は？
	B	家庭において、子どもが学習のきまり等を全く守らないときの保護者の気持ちや悩みは？

### 芦北管内統一事項（家庭学習編）

#### 1 日付の記入

- ・日付を記入することで、学習の跡を残すようにします。

#### 2 時間（始まりと終わりの時刻）の記入

- ・時間（始まりと終わりの時刻）を記入することで、自分で計画して学習する態度を身に付けます。

#### 3 めあてと振り返り（感想等）の記入

- ・めあてと振り返り（感想等）を記入することで、家庭学習を授業と同じように意識して取り組み、充実を図ります。

#### 4 保護者の確認

- ・家庭学習の跡を保護者に見ていただくことで、学校と家庭が連携した取組を推進します。

家庭学習で大切にしたい事項を、「統一事項」として周知し、小学校でも中学校でも継続した取組ができるよう工夫しています。

- 「親の学び」プログラムを活用することで、楽しく意見交換することができます。また、家庭学習の悩みについても共有できます。互いに話すことで、「我が家だけではない。」という安心感を持つことができます。
- 「親の学び」プログラムでの学びから、家庭でのルールづくりや対応を工夫することができ、子どもたちのやる気アップにつながります。